

南砺市学校教育で目指す子供像
ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子

平中学校 学校教育目標
郷土に誇りをもち 心豊かに たくましく 学び続ける 生徒の育成

重点目標

知：学び合う

○知識及び技能を身に付け、自信をもって活用したり、自己表現したりする。

徳：共に生きる

○互いのよさや可能性に気づき、共に高め合う。

体：やり抜く

○夢や希望の実現に向かって挑戦し、粘り強く努力する。

平中アクションプラン2024

重点目標を達成するための具体目標及び数値指標

知：学び合う

学校でも家庭でも進んで学習に取り組んでいる生徒

85%以上

徳：共に生きる

互いに高め合う行動や声かけを実践している生徒

90%以上

体：やり抜く

規則正しい生活を実践している生徒

85%以上

具体目標を達成するための方策

- 主体的に学び、表現できる生徒の育成のための授業改善を図る。
 - ・他の意見にしっかりと耳を傾け、自分の言葉でまとめて発表する表現力を育成する。
 - ・「分かった」「できた」を実感できるように授業の振り返りの場や方法を工夫したり、評価を指導に活かしたりする。
 - ・授業展開の中でタブレット端末等のICT機器を効果的に活用する方法を工夫する。
- 「学びの心得」の定着によって、確かな学力を身に付ける。
 - ・授業の中で、解決すべき課題への意識を高めたり、考えを深める過程を工夫したりする。
 - ・自分の考えを表現するために、予め考えをまとめるための効果的なタブレット端末やノートの活用方法を工夫する。
- 家庭学習の習慣化を図る。
 - ・各学年で家庭学習の目安となる時間を考えたり、各自の家庭での時間の使い方を見直したりすることで、自分の家庭学習時間を効果的に活用できるように指導する。
 - ・定期考査では家庭学習の内容や時間の計画を立て、教科担任や学級担任が学習指導を随時行う。

評価の時期 7月、12月
 評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
 具体目標の達成率
 7月()%、12月()%

- 生徒が相互に高め合う人間関係づくりを推進する。
 - ・ESDの視点に立った学習指導を通して、他の意見を尊重する態度を育てる。
 - ・学級活動や生徒会活動、学校行事等で一人一人が役割を果たし、達成感や所属感、喜びや感動を共有できる場を工夫する。
 - ・肯定的な振り返りを大切にしたい相互評価の場を設定する。
- 「いじめ」を許さない雰囲気をつくる。
 - ・道徳教育やいのちの教育、人権教育を推進しながら、他を思いやる心や善悪の判断力を育てる。
 - ・「生活の記録」等の生徒の記述や行動、「いじめアンケート」や教育相談、スクールカウンセラーとの面談を通して、気付いた情報を職員間で確実に共有する。
- 自信をもって挨拶や感謝の言葉を伝える習慣をつくる。
 - ・自信をもって日常的な挨拶を実践することを目標とし、互いに評価し合う場を設定する。
 - ・来校された方や地域の方への挨拶や、お礼の言葉を自分から伝えられるよう指導する。

評価の時期 7月、12月
 評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
 具体目標の達成率
 7月()%、12月()%

- 規則正しい生活習慣（早寝・早起き・食事・運動・休養）の形成を図る。
 - ・とやまゲンキッズ作戦の結果や生活の記録を基に生活習慣の様子を把握する。
 - ・保健体育科の時間、体育的行事（運動会、陸上大会、スキー教室等）との関連を図り、目標に向けてやり抜くたくましい体づくりを推進する。
 - ・栄養教諭・養護教諭による食や心身の健康に関する指導の充実を図る。
 - ・授業参観や保護者会等の機会を捉えて、規則正しい生活習慣の定着について、保護者との連携を図る。
- 自己管理能力を育み、たくましい心身の育成を図る。
 - ・「生活の記録」や学級活動、生徒会委員会等の活動を推進し、睡眠時間、学習時間、メディア利用時間等について、自己管理能力を高めるようにする。
 - ・生徒会生活委員会を中心に、定期的に「平中ネットルール」を見直し、自律したメディア利用の定着を目指す。

評価の時期 7月、12月
 評価の方法 ① 生徒 ② 教師 ③ 保護者
 具体目標の達成率
 7月()%、12月()%